

明化小学校改築基本構想検討委員会 事務局（学務課施設係）主催

作成日2015年2月28日

中央区立明正小学校（幼稚園）見学

修正日2015年3月22日

2015年2月27日 15時30分から17時30分

中央区立明正小学校 見学報告

報告先:明化小学校改築基本構想検討委員会

作成者:明化小学校改築基本構想検討委員会委員 長谷川 陽一

中央区対応者

教育委員会事務局 庶務課 学校施設係長 長田厚志氏

学校施設整備主査 相崎 肇氏

学校施設係 佐藤安奈氏

見学の動機・目的

検討委員会事務局案では判り難い、判断しにくい点を、同じ復興（改築）小学校である明正小学校を見学し関係者に当時の経緯を伺う事や実際の建物を見て、明化小改築に活かす為。（明正小学校は全て取り壊し、新築された。）

印象深かった内容

・明石・中央・明正小学校の改築前の中央区内の復興小学校は9校（内2校は小学校用途以外で活用中）。明石小で起きた校舎保存の誓願などにより計画調整期間や建築工期が短かった等の反省を元に、明正では改築準備協議会で基本設計まで行い（1年）、一旦解散し新たに改築推進協議会を立ち上げ、区（庶務課と営繕）、業者、学校（校長・副校長）の3者で毎週水曜日の午前中に会議を行った。追加要望はもちろん、10年後15年後の児童数増や教育ニーズを先取りし、かつ電灯・空調等スイッチや防犯ブザーの位置に至る現場目線の細部の検討を行った（1年）

計画から2年、そして竣工まで2年、合計4年かけている。

敷地内に仮校舎を作る余地がないため、近隣小学校（改築後の中央小学校）に同居した。1校に2校2幼稚園があった時期もあり、校長先生以下のご苦労は相当なものだっただろうとの事。

・その検討の進捗を「改築準備協議会だより」として定期的に在校生全児童・関係町会に配布し保護者や地域住民との意思疎通を図っている。

・明正小学校は、復興小学校当時のもので残っている物は多くない。戦災で焼かれて余り古いものが残っていない。外観デザインや色調（床や壁面の板の色調など）は踏襲している。シンボルツリーの銀杏は内部に障害（ろう）があり、移築できず伐採して、一部をテーブルにしたり、枝は挿し木として栽培、「銀杏2世プロジェクト」として6年生を主体に進行中。

・区職員（教育委員会と営繕課の2者）が非常に緻密且つ遊び心豊かに設計しており、案内して下さった長田係長は地元深川の出身でもあり、自分でも思い入れが強い小学校と語られていて、やはりそうした人の想いの度合いがこうした仕様にも現れると感じた。

残念だった事、今後希望する事

・文京区側の委員の参加が非常に少なかった事（沼田、辻、鶉沼、長谷川）の4名に加えて、事務局から吉谷、木村、藤田、マヌ都市計画板谷。

日程設定が急すぎたこと、しかも月末週末であった事もその一因と思うが、行政に丸投げでなく、委員も百聞は一見にしかずで、現物を数多く見て、それから自校の現状や制約から物を考えなくてはならないと思った。

機会さえ叶えば明正小学校を見ていない委員は、再度長田氏の熱い想いを聞いて、現場を見て欲しい。

詳細情報

文京区とは異なる中央区の特徴

- ・区内の殆どが商業地で高さ制限や日影規制がない→高い物が建設可能（明正は30m6階建て）
- ・幼稚園併設が多い。更に明正の場合は児童館と放課後教室（プレディと呼ぶ）も館内に併設。5月からは耳の不自由な児童向けに通級学級も開設予定。ただし認定こども園には取り組んでいない。幼稚園からのこども園移行には運用上の課題が多いとの考え。

中央区

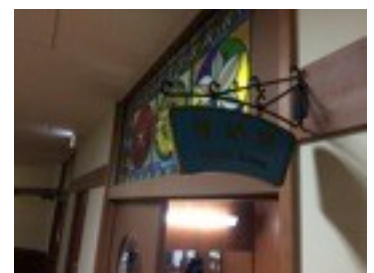
- ・中央区の来年度予算約900億円（人口14万人弱。今後増加見込み）
- ・区立小学校16校 幼稚園13（休園中3園）、区立中学校4校

トピックス

1.部分的に旧校舎の意匠である丸いアーチをつけた天井。非常にゆったりと幅広い廊下。内廊下にもかかわらず、開口の大きなガラスを多用し暗さを感じない。床及び壁の立ち上がりには合板を使用。ステンドグラスの一部は旧校舎から移設。



2.特別教室のガラスにイラストや風情のあるプレート



3.エレベーターはストレッチャーが入る大きいサイズ。大人20人乗りを2基。（学校用1基、児童館用1基、その他の給食専用1基）ただし児童は階段使用。（体力増進の為）



4.トイレには洋式便座を主に、和式は各トイレに1つは必ずあえて残す（他人が座った便座に座るのをいやがる児童や、修学旅行など外部で和式しか仕えない場合の訓練用に）。ウォシュレットは教職員用・学校開放には設置。基本的には児童の使用分にはついていない。



5.各フロアに誰でもトイレを設置。3階体育館フロアにはオストメイト仕様もあり。

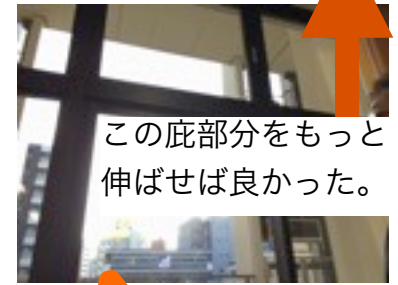
6.普通教室の大きさは58㎡から72㎡へ拡大（7.5m×9m）机も教科書のサイズに合わせて幅広にして、椅子とともに高さ調節が可能で1年生から6年生まで使えるようになっている。

7.クラス数も人口増を見越して最大18クラス（最大40人/クラス）まで可能。（現在は8クラス約200名が在籍）

8.普通教室（現在使用可能教室は12教室）はすべて校庭側（南向き 幼稚園は東向き）

9.校庭に面したベランダは本来は不要なのだが、夏の日照調整のために設置。庇をもう少し伸ばした方が、夏季の直射日光が遮ることができて良かった（反省点）

10.将来のIT授業に備え、時計の下にコンセントを配置。且つプロジェクター投影用のスクリーンBoxも設置済み（電源は1教室に20A2系統配置）



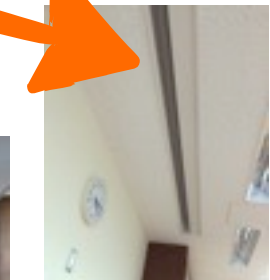
この庇部分をもっと伸ばせば良かった。

11.音楽室以外の特別教室はすべて5階（放課後教室や児童館が5階、6階にある為、普通教室の配置だと低学年がプレディに来室した場合の子どもの声で中・高学年の授業に支障がでる事が想定される為、特別教室ならその影響は少ないと判断）

12.音楽室と図書室、ランチルームはR部分を有効活用。



13.音楽室は大きな楽器庫あり。道路に面したガラスは防音仕様。扉は準防音仕様。



14.体育館と音楽室は同じフロア→体育館への移動で楽器自体や運搬する方に負担を掛けない為

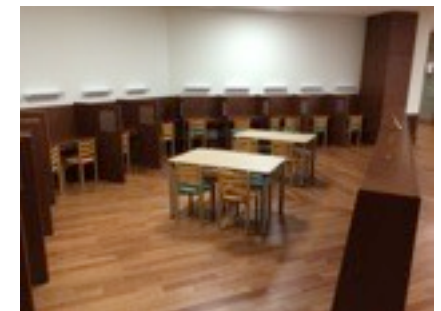
15.図書館は開架式で冊数は多く無いが区内全ての図書館・学校がオンラインで繋がり取り寄せ可能、自習エリアや寝転んで読めるスペース、和室（お茶や作法授業など。畳がない家庭が増える中、日本文化を学ぶ場所としての目的と、避難時、畳でないと眠れない方など要援護者用に設置）



16.図書館の中に別パーティションでパソコンルームがあり。調べ物学習時の動線を考慮。



17.多目的室やオープンルームは、可動式パネルで間仕切り可能な設計。将来の普通教室や特別教室の需要増に対応可能にしている。



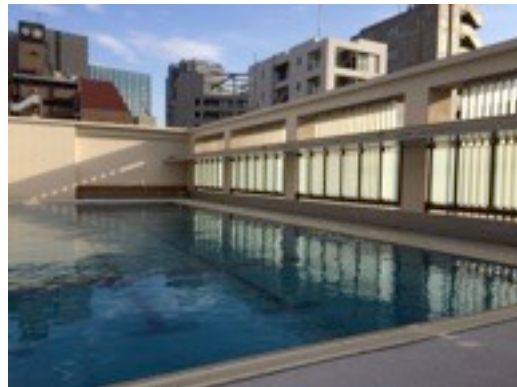
18.防災拠点であるため、防災倉庫は1階（ボールやリヤカー 災害発生初期に必要な資材）と3階（=避難所となる体育館があるフロア。食料や・水・毛布など避難所運営に必要な物品）の二箇所に設置。

19.体育館は地域住民からは1階にとの声があったが、荒川の決壊



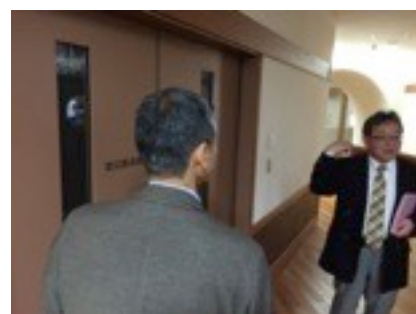
時に浸水する可能性があるため3階とした。(幼稚園設置基準上、幼稚園は1・2階にしか設置出来ないため、スペース的な観点もある。)

20.屋上のプールは緊急時(消防水利)にも使用可能なように1階校庭に直管を配備。濾過機を用いて飲用も可能。水道は飲料水用の水道管直結、高架水槽式(地震時に緊急遮断弁による飲料水確保)、雨水の3系統がある。



21.プール周辺には更に高いマンションがある。児童盗撮のリスク(ドームを付ける)より、太陽を浴びて水泳をする事を選択

22.別途、軽油仕様の72時間連続運転可能な自家発電装置も保有。(重油は災害時調達が難しい為)燃料は1日分を備蓄。災害時には協定むすんだ業者から優先供給される事になっている。(軽油の補給は、給油車が1階校庭に乗り入れ、1階給油口に横付けして給油。給油ポンプは自家発電装置が発電した電源を使用)



23.保健室内に校庭から直接入れるドアがあり、室内にはシャワールームがあってアトピーの児童が体育後等汗を流せる。(文部科学省のアレルギー対策マニュアルに対応)



24.屋上の太陽光パネルの発電能力は20kw(一般家庭、4軒分と少ない)携帯電話等充電程度。

25.体育館のバスケットゴール(国際標準)は大人の使用も可能なように高さ可変式(サイドのバスケットゴールは、児童のミニバス用サイズ)



26.体育館舞台は作り付けで、非稼働。ピンライトやホリゾントライトも完備。舞台裏には大きな収納庫があり、グランドピアノがそのまま収納できるような間口の広いドアあり。



27.体育館音響面でもユニークなスピーカーを採用



28.全館冷暖房完備(体育館も冷暖房完備)



29.体育館には一般開放を想定して更衣室、シャワールーム(男女2基ずつ)があり。

30.職員室、事務室、印刷室、校長室は廊下側からだけでなく、室内にもドアがあり行き来が可能。

31.放課後こども教室（プレディ）は今は18時までだが、4月からは平日は19時30分まで（土曜日は18時）、土曜日・学校休業日は朝9時からを8時30分からに変更する。職員4から6名のシフト勤務で対応。

32.緑化面積確保（都の緑化率）の為、校舎外壁に自動冠水装置つきのプランターを設置。校庭運動用具倉庫屋上にも緑地確保



33.校庭に面したらせん階段は緊急時に教員が校庭にすぐ降りられるよう設置。運動会時には2階のベランダを観客席に開放して保護者には大好評。



34.超小型風力・太陽光発電ハイブリッド電灯は校庭内に3基。（実用的な事より環境教育向けか）校庭側校舎に、災害用照明を配置（校庭に面して特別養護老人ホームがあるため、校庭の夜間開放はおこなっていません。）



35.幼稚園園庭（幼稚園用遊具あり）は小学校と共用。幼稚園プール部分は夏の使用時以外は蓋をして人工芝を配置

36.幼稚園2階から緊急脱出用に滑り台あり



37.

